

報通信審議会情報通信技術分科会
CISPR 委員会 A グループ会議 (第 16 回) 議事要旨 (案)

- 1 開催日時：平成 22 年 8 月 26 日 (木) 14 時 00 分～17 時 10 分
- 2 開催場所：金融庁 9F 共用会議室-2
- 3 出席者 (順不同)
【委員】山中主任 (NICT)、田島幹事 (NTT)、
両宮委員 (NTT-AT)、黒沼委員 (協立電子)、小根森委員 (JEMA)、
篠塚委員 (NICT)、杉浦委員 (NICT)、垂澤委員 (NTT ドコモ)、野村委員 (TELEC)、
羽田委員 (JQA)、濱住委員 (NHK)、針谷委員 (KEC)、
平田委員 (富士ゼロックス)、星委員 (VCCI)、山下委員 (JET)
【事務局】浦賀、加賀谷、郷藤 (総務省) 三塚、田上 (TELEC)

- 4 議事概要
 - (1) 事務局から配付資料の確認が行われ、参考資料が 2 件追加された。
 - (2) 事務局から委員の交代の説明があり、新任者の挨拶があった
TELEC 野村委員の追加が紹介された。
 - (3) 資料 A16-1 前回議事録案について山中主任から概要説明があり、修正意見等あれば 1 週間以内に事務局まで連絡することで承認された。
 - (4) 資料 A16-2 CISPR シアトル会議 SC/A 対処方針案について山中主任から提案説明があり、特に異議なく承認された。
 - (5) 資料 A16-2A VHF-LISN 提案 (VCCI) について星委員から提案説明があり、Fig9, Fig10, Fig11 への下記の疑問を見直した上で、WG2 に提案することは承認された。
 - ・ Fig. 10 は CMAD ではなくコネクタのフランジでみたインピーダンスではないか。
 - ・ Fig10, Fig11 は 16-2 の測定法に合致しないのでは。必要かどうか検討が必要
 - ・ Fig9 でいうスルーとは何か疑問。2Wire と 3Wire においてアースの処理も不明確。
 - ・ Fig9 の測定は 100MHz を超えると不可能である、コモンモードインピーダンスとして見ているのか不明である。
 - ・ 本資料は星委員が持ち帰り確認をすることとなった。
 - (6) 資料 A16-3 CISPR シアトル会議 SC/A WG1 対処方針案について、篠塚委員から提案説明があり、特に異議なく承認された。
 - (7) 資料 A16-4 CISPR シアトル会議 SC/A WG2 対処方針案について、田島委員から提案説明があり、特に異議なく承認された。

- (8) 資料 A16-5 CISPR シアトル会議 JWG (A/D Site Val) 対処方針案について、山中主任から概要説明があり、特に異議なく承認された。
- (9) 資料 A16-6 CISPR シアトル会議 JTF A/F 対処方針案について、両宮委員から概要説明があり、特に異議なく承認された。
- (10) 資料 A16-7 CISPR シアトル会議 JTF A/H 対処方針案について、山中委員から概要説明があり、特に異議なく承認された。
- (11) 資料 A16-8 CISPR シアトル会議 SC/A 関連参加者案について事務局から提案の説明があり、特に異議なく承認された。
- (12) 資料 A16-9-1～9-4 CISPR16-2-2 答申（案）関連資料について山中主任から概要説明があり、下記の議論の後、一部修正して承認された。
- ・ 9-1 と 9-2 は今後、I の答申と様式を統一する。
 - ・ 答申素案内の朱色印刷の部分は、最終版では黒字とする。
 - ・ 本文 p6：引用規格 12 項 ITU-R 勧告 BS464-4 は本文中で参照されておらず不要のため削除する。
 - ・ 本文 p7：3.6 項“不対称電圧”は CISPR22 に合わせて“一線対地間”にする。
本項内容不明瞭なため再度見直し、多導体の場合の記述を追加する。
 - ・ 他に何かあれが、明日 27 日中に提出のこと。
- (13) 資料 A16-10 CIS/A/912/FDIS 回答案について平田委員から概要説明があった。
- ・ 本 FDIS は条件が厳しすぎるとしてドイツが反対している。
(FAR は完全無響室であり、SAR+吸収体では無理)
 - ・ FDIS に対する Editorial コメントは投票とは別に日本 NC が SC/A 国際幹事へ送る。
 - ・ A グループ内審議は本会合で完了として、今後 CISPR 委員会のメール審議とする。
- (14) その他
- ・ SC/A 対処方針案は 27 日までに修正版を総務省に提出のこと。
 - ・ シアトル会議への参加登録のうち、SC 参加は CISPR 委員会後に総務省が承認する。
 - ・ 次回会合は未定。

以 上